

令和8年度 予算編成方針及び重点施策等

令和7年11月25日

令和8年度当初予算編成について	1
総務部	2
危機管理部	3
能登半島地震復旧・復興推進部	5
企画振興部	7
文化観光スポーツ部	9
健康福祉部	11
生活環境部	13
商工労働部	15
農林水産部	17
競馬事業局	20
土木部	21
警察本部	23
教育委員会	25

石川県

令和8年度当初予算編成について

1 令和8年度の収支見通し

社会保障関係経費や公債費、職員費など義務的経費の増加や、物価高への対応に加え、引き続き、令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興に係る財政需要も見込まれることから、厳しい財政状況が続く見通し

2 令和8年度当初予算のポイント

- ・ 財政の持続可能性を確保しつつ、能登の復旧・復興とともに、幸福度日本一の石川県の実現に向けた成長戦略の具現化に必要な取り組みを推進
- ・ 人件費や物価の上昇を適切に予算に反映

3 予算要求基準（シーリング）

（1）一般行政経費

○ 要求限度額

裁量的経費	前年度比△20% (R7 同)	※削減額：約2億円
経常的経費	前年度比 +2% (R7 ±0%)	

※社会保障関係経費は所要見込額

○ 重点政策テーマ枠

以下の政策テーマについては、別枠で新規事業（ソフト事業）の提案が可能

①令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興に向けた取り組み

- ・ 要求上限なし

②石川県成長戦略の実現に向けた新たな取り組み

- ・ 新規1事業要求には1事業以上を廃止
- ・ 特別重点枠は、削減額の2倍の要求枠を付与
(人口減少対策、防災減災、文化観光、食文化、海外展開、DX、GX)
その他は、削減額と同額の要求枠を付与

（2）投資的経費

国の予算編成や地方財政計画を踏まえて計上

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（総務部）

◎予算編成方針

- ・ 令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興と石川県成長戦略に掲げる幸福度日本一の石川県の実現に向けた施策を推進するため、事業の選択と集中、効率的な予算執行を一層徹底し、持続可能な行財政運営に取り組む。

◎重点施策等

R 8 の取り組みの方向性

復旧・復興事業が今後ますます拡大し、多額の財政需要が見込まれる中、県政の羅針盤である石川県成長戦略を推進するための取り組みも着実に進める必要があることから、これまで以上に、事業の選択と集中、効率的な予算執行など、県政運営の土台となる持続可能な行財政運営に取り組む。

1 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨への対応

(1) 早期かつ着実な復旧・復興の実現に向けたマンパワーの確保

県による任期付職員の採用や被災市町への職員派遣を継続しながら、国や関係団体に対して、県及び被災市町への安定的な人的支援を要望

(2) 創造的復興の推進

風化防止に向けた戦略的な情報発信等

2 石川県成長戦略の推進

(1) 県民参加を促進する広報・広聴活動等の推進

新聞、テレビ、ラジオ、広報誌、SNS等による県政情報の提供

知事記者会見や県政出前講座の実施 等

(2) 行政のデジタル化の推進

広域データ連携基盤の活用

デジタルワークスタイルの推進 等

(3) 私立学校の振興

教育環境の維持向上や保護者の経済的負担の軽減、学校経営の安定化に対する支援

(4) 公立大学法人の運営の支援

県立大学及び看護大学における教育の質の向上や法人運営のための運営費交付金の交付

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（危機管理部）

◎予算編成方針

- ・令和6年能登半島地震の教訓や新たな地震被害想定を踏まえ、防災対策を充実強化し、自助・共助・公助による地域防災力のさらなる向上を図る。
- ・将来にわたる消防力の維持・強化に向けて、それぞれの地域における現状と課題を踏まえ、市町と連携して取り組みを推進する。
- ・志賀原子力発電所の安全対策の徹底を図るほか、原子力防災計画に基づき、原子力防災体制の強化を図る。

◎重点施策等

1 防災対策の充実強化

R 8 の取り組みの方向性

近年、激甚化・頻発化する自然災害による被害を最小限に留めるため、能登半島地震の教訓等を踏まえた災害対応力の強化など、防災対策の充実強化に取り組む。

(1) 能登半島地震等を踏まえた災害対応力の強化

能登半島地震の教訓や新たな地震被害想定を踏まえて改定した地域防災計画に基づく防災対策の具現化を進め、県の災害対応力の強化を図るとともに、防災総合訓練などの実施を通じた関係機関相互の連携強化を図る。

(2) 市町の災害対応力強化への支援

総合防災情報システムや被災者生活再建支援システムを活用し、市町による迅速な災害対応等への支援に取り組む。

(3) 火山防災対策の推進

白山における登山届の提出促進に向けた啓発や火山防災訓練の実施など、関係機関とともに白山火山防災計画を着実に推進する。

2 自助・共助による地域防災力の向上

R 8 の取り組みの方向性

災害による被害の軽減に不可欠である防災士をはじめとした自主防災組織の充実強化や、企業や団体など多様な主体との連携により、自助・共助による地域防災力のさらなる向上を図る。

(1) 県民の防災意識の向上

地震被害想定の見直し等を踏まえ、災害による被害の軽減を図るため、様々な普及啓発活動等を通じ、県民一人一人の防災意識のさらなる向上を図る。

(2) 自主防災組織や防災士の充実強化

市町や大学等と連携し、防災士の育成を進めるとともに、自主防災組織や防災士の活動の充実強化を図る。

(3) 多様な主体との連携強化

災害時の多様なニーズに的確に対応できるよう、災害時応援協定の締結をはじめ、企業や団体など多様な主体との連携を深める。

3 消防力の維持・強化

R 8 の取り組みの方向性

市町の消防職員や消防団員の確保が喫緊の課題となる中、頻発する自然災害等に対応するため、災害の最前線を担う消防防災体制の充実強化を図るとともに、将来にわたる消防力の維持・強化に向けた検討を進める。

(1) 消防防災体制の充実強化

市町の消防防災施設や資機材等の整備への支援や、消防学校における教育訓練、消防防災ヘリコプターの運航などを通じ、消防防災体制の充実強化を図る。

(2) 質の高い救急医療体制の確保

救急相談専用ダイヤル「# 7 1 1 9」の運用により、迅速な救急搬送と医療の質の確保を図る。

(3) 将来にわたる消防力の維持・強化に向けた検討

消防職員の確保や消防団員の確保・負担軽減などについて、引き続き、有識者を交えた検討会を開催し、市町とともに具体的な施策の議論を進める。

4 原子力安全・防災対策の推進

R 8 の取り組みの方向性

志賀原子力発電所の安全対策の徹底を図るほか、原子力防災計画に基づき、原子力防災体制の強化を図る。

(1) 原子力発電所の安全対策

志賀原子力発電所の環境への影響を評価するため、環境放射線監視機器を更新・整備し、放射線監視を行うとともに、地域住民の安全確保などについて協議を行う原子力環境安全管理協議会の運営等を通じて、安全対策の徹底を図る。

(2) 原子力防災体制の整備

原子力防災計画に基づき、30km圏内の市町等へ防災資機材等を計画的に整備するほか、原子力防災訓練を実施するなど、原子力防災体制の整備を図る。

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（能登半島地震復旧・復興推進部）

◎予算編成方針

- ・一日も早い令和6年能登半島地震、令和6年奥能登豪雨からの復旧と能登の創造的復興を実現するため、「石川県創造的復興プラン」を推進する。
- ・能登半島地震、奥能登豪雨により被災された方の生活再建等に向けた支援に取り組む。

◎重点施策等

1 創造的復興の推進

R 8の取り組みの方向性

能登の創造的復興を成し遂げるため、石川県創造的復興プランの4つの施策の柱である、教訓を踏まえた災害に強い地域づくり、能登の特色ある生業の再建、暮らしとコミュニティの再建、誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくりについて、国や民間の力も活用しながら、全庁を挙げ推進する。

(1) 石川県創造的復興プランの推進

客観指標や事業進捗について、令和6年能登半島地震アーカイブを始めとした様々な機会を捉え、分かりやすく復旧・復興プロセスの見える化を図り、広く県民や全国へ能登の現状を発信し、風化防止に取り組む。

(2) 地域の復興活動への支援

地域が抱えるノウハウやマンパワーの不足、資金確保といった様々な課題に対し、能登官民連携復興センターが地域団体に伴走し、全国の産官学金の様々な支援を効果的につなげる。

(3) 令和6年能登半島地震復興基金と能登創造的復興支援交付金の両輪による創造的復興の加速

石川県創造的復興プランに基づき、県及び市町が実施する事業に「復興基金」と「交付金」を最大限活用し、市町が抱える地域の課題や実情に応じ、創意工夫により創造的復興を進める。

2 被災者の生活再建等の支援

R 8の取り組みの方向性

災害救助法に基づく応急救助をはじめ、被災者生活再建支援制度や地域福祉推進支援臨時特例給付金による生活再建等への支援など、被災者や被災事業者等への支援に取り組む。

(1) 災害救助法に基づく応急救助の実施

被災者の当面の住まいとなる建設型仮設住宅やみなし仮設住宅の提供、準半壊以上の被害を受けた住家への応急修理の支援などに取り組む。

(2) 恒久的な住まいの確保に向けた支援

県独自の被災者生活再建支援制度に基づく半壊世帯への支援や、地域福祉推進支援臨時特例給付金、自宅再建利子助成事業給付金などの各種支援制度のほか、被災地での自宅再建をさらに後押しする能登創生住まい支援金により、被災者の支援に取り組む。

また、被災者に寄り添ったサポート体制として、引き続き、「生活再建支援アドバイザー」による伴走支援を行う。

(3) 地域コミュニティの再建支援

地域住民同士が外に出て触れ合う機会を創出するイベント等により、仮設住宅や集落等における地域コミュニティの再建を後押しする。

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（企画振興部）

◎予算編成方針

- ・令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興に向けた施策の推進に取り組む。
- ・地域活力の向上に向けた移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大に取り組む。
- ・北陸新幹線の建設促進、持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実に取り組む。
- ・小松空港、のと里山空港の航空ネットワークを活用した交流促進に取り組む。
- ・高等教育機関と連携した「学都石川」の発展に取り組む。
- ・西部緑地公園の再整備に取り組む。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨への対応

R 8 の取り組みの方向性

能登の復旧・復興に向け、石川県創造的復興プランの「創造的復興リーディングプロジェクト」に位置付けた取り組みの推進を図る。

復興プロセスを活かした関係人口の拡大、能登サテライトキャンパス構想の推進、のと里山空港の拠点機能の強化、将来の能登の姿を見据えた地域公共交通の再構築

2 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大

R 8 の取り組みの方向性

地域活力の向上のためには、移住者や関係人口の増加が重要であることを踏まえ、本県の個性や魅力を活かし、移住・定住の更なる促進、関係人口の創出・拡大に取り組む。

首都圏等に向けた本県の魅力や移住情報の発信強化、本県での移住体験機会の提供、受入体制の充実、関係人口ポータルサイトの活用等による関係人口の創出・拡大

3 北陸新幹線の建設促進と持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実

R 8 の取り組みの方向性

北陸新幹線の早期全線整備に向けて取り組むとともに、地域公共交通の維持・確保・充実を図る。

(1) 北陸新幹線の建設促進

沿線府県等と連携して政府・関係国会議員への要請活動を展開し、一日も早い大阪までの全線整備を推進

(2) 持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実

鉄道やバス路線の維持、事業者の安定的な経営と安全な運行の確保、担い手確保や利活用促進への支援

4 航空ネットワークを活用した交流の促進

R 8 の取り組みの方向性

小松空港については、新幹線敦賀延伸後の航空を取り巻く状況の変化を踏まえ、国内線・国際線の航空ネットワークの充実や利用促進、国際物流拠点化の推進、小松空港の機能強化・活性化などの取り組みを進める。

のと里山空港については、被災地の早期復興に向け、首都圏をはじめ全国からの誘客を図るとともに、地元からの利用促進に取り組む。

(1) 小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化

① 国内線の利用促進

ビジネス利用の確保や観光需要の喚起、福井県との連携による需要開拓、羽田乗継のPR、のと里山空港や新幹線と連携した利用促進

② 国際線の利用促進

台北・上海・ソウル・香港便の各路線の特長に応じた利用促進、新規路線の誘致に向けた取り組み

③ 国際物流拠点化の推進

小松空港の優位性のPR、荷主等への助成による新たな貨物需要の開拓

④ 小松空港の機能強化・活性化

小松空港ターミナルビル基本構想を踏まえた具体的な検討

(2) のと里山空港の交流拠点としてのさらなる活性化

① 首都圏等からの利用促進

「今行ける能登」への誘客に繋げる復興応援ツアーの造成、HP等を活用した情報発信の強化

② 地元からの利用促進

若年層に対するマイ空港意識の醸成など需要の掘り起こし、復興応援イベントの実施による賑わい創出

5 高等教育機関と連携した「学都石川」の発展

R 8 の取り組みの方向性

高等教育機関の集積を活かした多様な「学び」の充実に加え、学術交流や地域活性化に取り組む。

いしかわシティカレッジにおける単位互換授業の実施、能登の復興や災害対応等の地域課題に取り組む大学のゼミナールに対する支援

6 西部緑地公園の再整備

R 8 の取り組みの方向性

「スポーツとイベントの拠点」である西部緑地公園の再整備に向けた取り組みを進める。

県立野球場及び産業展示館の建て替えを含む園内の再整備に向けた基本計画策定に着手

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（文化観光スポーツ部）

◎予算編成方針

- ・能登の観光の本格的な復興を見据えた情報発信や観光需要喚起などに取り組むほか、文化・スポーツの力による暮らしとコミュニティの再建を図るなど、令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの復興の推進に取り組む。
- ・引き続き「ポスト国民文化祭」の取組を推進するほか、前田育徳会尊經閣文庫の誘致に向けた機運醸成など、文化の裾野の拡大とさらなる高みを目指した取組を進める。
- ・北陸新幹線県内全線開業効果の持続・発展に向けた戦略的な情報発信・誘客など、県下全域の誘客拡大の取組を推進する。
- ・海外誘客については、国や地域に応じたプロモーションを推進するとともに、オーバーツーリズムの予防的対策により県民生活と観光客受入れの両立を図る。
- ・外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりを推進する。
- ・県民の心身の健康増進や地域活性化など、スポーツを通じた活力の創造に取り組む。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの復興の推進

R 8 の取組の方向性

誘客の本格再開を見据えた「今行ける能登」などの情報発信や県独自の観光需要喚起策に取り組むほか、祭りの再開支援や能登駅伝開催に向けた準備など、文化・スポーツの力による暮らしとコミュニティの再建を図る。

(1) 観光産業の再建

- ・「今行ける能登」の情報発信、観光需要喚起
- ・震災学習プログラムを活用した修学旅行の誘致等

(2) 暮らしとコミュニティの再建

- ・能登の祭りや文化団体の活動の再開支援
- ・地域活性化に向けたスポーツイベントの開催や能登駅伝の開催準備

2 本県ならではの個性と厚みのある文化の創造と発展

R 8 の取組の方向性

引き続き「ポスト国民文化祭」の取組を推進するとともに、前田育徳会尊經閣文庫の誘致に向けた県民全体の機運醸成に取り組む。

(1) 「ポスト国民文化祭」の取組の推進

- ・「いしかわ舞台芸術祭」や「いしかわ秋の芸術祭」等を通じた本県文化の深化や裾野の拡大、文化体験機会の創出

(2) 前田育徳会尊經閣文庫の誘致に向けた機運醸成

- ・尊經閣文庫の価値や魅力、歴史等の発信

3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力強化

R 8 の取組の方向性

北陸新幹線県内全線開業効果の持続・発展に向けた誘客、多様化するニーズに対応した戦略的な情報発信や誘客キャンペーン、受け地の魅力づくりに取り組むとともに、小松空港・北陸新幹線などの充実した交通インフラを活用した海外誘客を推進する。

(1) 戦略的な情報発信・誘客キャンペーン

- ・デジタルマーケティングや県外観光案内所を活用した情報発信のほか、JRと北陸三県が連携した誘客キャンペーンの実施など、北陸新幹線県内全線開業効果の持続・発展に向けた取組を展開

(2) 受け地の魅力づくり

- ・本県の強みである多彩な文化資源を最大限活用した文化観光の推進
- ・多様化する旅行ニーズに対応した観光資源の発掘・磨き上げの促進

(3) インバウンドにおける誘客強化

- ・現地メディアへの情報発信等による小松空港国際定期便や北陸新幹線を活用した誘客の推進
- ・オーバーツーリズムの予防的対策による県民生活と観光客受入れの両立

4 世界に開かれた国際化の推進

R 8 の取組の方向性

世界の各地域との多様な国際交流・国際協力を推進するとともに、日本語教育体制の整備や外国人住民の防災対応力強化など、多文化共生を推進する。

(1) 国際交流と多文化共生の推進

- ・友好交流地域をはじめとした多様な国際交流の推進
- ・市町、国際交流団体と連携した地域日本語教育体制の充実や外国人住民の防災対応力強化等の多文化共生の推進

5 スポーツを通じた活力の創造

R 8 の取組の方向性

県民の心身の健康増進やスポーツを通じた地域活性化に向け、競技力のさらなる向上と、スポーツの裾野の拡大に取り組む。

(1) 競技力の向上

- ・アスリートの育成・強化、ジュニアアスリートの発掘・育成

(2) スポーツの裾野拡大と地域活性化

- ・県内トップスポーツチームと連携した競技体験・交流イベントの開催
- ・障害のある人がスポーツに親しむ機会の提供
- ・アーバンスポーツの普及・振興

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（健康福祉部）

◎予算編成方針

- ・被災した社会福祉施設等の復旧や仮設住宅等における被災者の見守り、こころのケアなどに取り組む。
- ・人口減少対策の重点施策として、結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた支援の充実・強化を図る。
- ・団塊ジュニア世代が高齢者になる2040年を見据え、健康寿命の延伸、要介護高齢者等への支援、介護・福祉人材の確保など、高齢化対策を積極的に展開する。
- ・医師不足地域等における医療従事者の確保・養成、周産期医療体制や救急医療体制の確保など、地域医療のさらなる充実を図る。
- ・障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会を目指すとともに、就労や文化芸術活動などを通じ、障害のある人の自立と社会参加を促進する。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨への対応

被災した社会福祉施設等の復旧や仮設住宅等における被災者の見守り、こころのケアなどに取り組むとともに、社会福祉施設の災害対応力の強化や、甚大な被害を受けた精育園の再建に取り組む。

2 安心して子どもを生み育てることができる環境の充実

R 8の取り組みの方向性

次代を担う子どもが、健やかに生まれ、心豊かにたくましく育ち、自立した大人に成長するとともに、結婚や出産の希望がない、安心して子どもを生み育てていけるよう、結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援の充実を図ることで、人口減少対策としての施策を強化する。

(1) 結婚に対する支援

結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援を充実させるため、「あいきゅん」による出会いの機会の提供など、県・市町・企業が一丸となって、結婚支援の施策を推進する。

(2) 妊娠・出産に対する支援

出産の希望がない、安心して子どもを生み育てるため、妊娠・出産に対する不安の解消や、母子の健康の確保・増進に向けた施策を推進する。

(3) 子育てに対する支援

子育て家庭が安心して子どもを育てることのできる環境を整備するため、保育料無料化等の経済的負担の軽減、保育人材の確保や幼児教育・保育の質のさらなる向上、全ての子育て世帯に対象を拡大したプレミアム・パスポート事業等による社会全体で子育てをする気運の醸成などの施策を推進する。

また、児童虐待の未然防止、早期発見・対応や、ヤングケアラーの支援に向けた取り組みを推進する。

(4) 働き方に対する支援

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進するため、従業員21人以上の企業への一般事業主行動計画の義務化など、企業における取り組みのさらなる充実に向けた施策を推進する。

3 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

R 8 の取り組みの方向性

全ての県民が生涯にわたり、健康で自立した生活ができる社会の実現を目指し、健康寿命の延伸、孤立や虐待の防止のための取組を進めるとともに、高齢化による介護ニーズの増加・多様化を見据え、地域包括ケアシステムや認知症対応の深化とともに、介護・福祉を支える人材の量と質の確保を推進する。

(1) 健康寿命のさらなる延伸に向けた取り組み

企業の健康経営に向けた取り組みの促進など、適正な食生活や運動の習慣化等による健康づくりを推進するための施策の充実を図る。

(2) 介護・福祉人材の確保

介護・福祉職の魅力発信、外国人介護人材の活用を含めた多様な人材の確保・定着支援、介護テクノロジーの導入などによる介護現場の生産性向上など、介護・福祉人材の確保に向けた取り組みの充実を図る。

(3) 要介護高齢者等への支援

介護予防、要介護高齢者の支援、認知症施策などを推進する。

4 全ての県民への必要な医療の提供

医師不足地域等における医師・看護師の確保・養成、周産期医療体制や救急医療体制の確保、医療機関の機能分担と連携の強化など、地域医療提供体制の確保・充実を図るとともに、感染症対策やがん・難病対策を推進する。

また、奥能登地域の医療提供体制の強化について、年明けに公表する大きな方向性を踏まえ、新病院建設に向けた取り組みを進める。

5 障害のある人も共に暮らしやすい地域づくりの推進

共生社会の実現に向け、正しい理解を深めるための普及啓発を行うとともに、就労支援、文化芸術活動などを通じ、障害のある人の自立と社会参加の促進に向けた取り組みの充実を図る。また、甚大な被害を受けた精育園の再建に取り組む（再掲）。

6 新たな社会福祉会館等の整備

社会福祉会館及び能登北部保健福祉センターについて、今年度行う基本設計を踏まえ、移転建て替えに向けた取り組みを進める。

7 人と動物が共生することができる社会の実現

ふるさと納税等を活用した寄附金を原資とする「いしかわ動物愛護基金」の活用などにより、動物愛護の推進に向けた取り組みの充実を図る。

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（生活環境部）

◎予算編成方針

- ・ 令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興のため、災害廃棄物の円滑な処理に向けた市町への支援のほか、トキ放鳥や「のとSDGsトレインル（仮称）」の創設などの石川県創造的復興プランのリーディングプロジェクトを推進する。
- ・ カーボンニュートラルの実現をはじめとした様々な環境にかかる課題に対応し、持続可能な循環型社会や、自然と人とが共生できる社会の構築を推進する。
- ・ 女性の活躍推進など男女が共に活躍できる社会の実現に向けた取組や、ボランティアやNPOの育成・活動支援など個性豊かな地域づくりを推進する。
- ・ 県民総ぐるみによる交通安全活動や防犯まちづくり、犯罪被害者等支援、消費者施策の推進など、安心して快適に暮らせる地域づくりを推進する。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨への対応

R 8の取り組みの方向性

令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興のため、災害廃棄物の円滑な処理や石川県創造的復興プランのリーディングプロジェクトを推進する。

- ① 公費解体の促進等、災害廃棄物の円滑な処理に向けた市町への支援
- ② 令和8年6月頃に予定しているトキ放鳥に向けた取組の推進
- ③ 「のとSDGsトレインル（仮称）」の創設に向けた取組の推進
- ④ 能登半島国定公園の被災施設の早期復旧

2 持続可能な循環型社会づくり

R 8の取り組みの方向性

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「環境総合計画」に基づき、本県の特性を踏まえた施策を推進し、温室効果ガスの削減に取り組む。

また、循環型社会の形成に向け、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進するとともに、水環境や大気環境など、生活環境の保全に取り組む。

(1) カーボンニュートラルの推進

- ① カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成
- ② 温室効果ガスの排出割合が高い家庭部門や運輸部門における取組の推進
- ③ 県庁グリーン化率先行動プランによる率先垂範

(2) 3Rの推進による循環型社会の形成

- ① 廃棄物の排出抑制やプラスチック資源循環の推進

② 産業廃棄物適正処理対策や海岸漂着物等対策の推進

(3) 豊かな水資源や良好な環境の将来世代への継承

① 水質環境基準等の監視調査の実施

② 大気環境の常時監視の実施

3 自然と人との共生できる社会づくり

R 8 の取り組みの方向性

令和8年6月頃に予定している羽咋市南潟地区（邑知潟周辺）でのトキ放鳥に向けた環境整備や生物多様性の保全の推進、野生鳥獣の適切な保護管理、自然公園の保護と利用の促進などにより、自然と人との共生に向けた取組を推進する。

① トキと人との共生に向けた取組の推進

② ツキノワグマによる人身被害防止対策の推進や狩猟者の確保・育成

③ 自然公園の適切な保護・管理、利用の促進や白山の魅力向上・発信

4 男女が共に活躍できる社会の実現

R 8 取り組みの方向性

女性の活躍推進や幅広い層への意識啓発、女性等に対する暴力の根絶や困難な問題を抱える女性に対する支援の充実に取り組む。

① 企業などあらゆる分野における女性の活躍推進や、男女共同参画の理解促進に向けた意識啓発

② 女性等に対する暴力根絶に向けた意識啓発や、配偶者からの暴力被害者及び性暴力被害者に対する支援、困難な問題を抱える女性に対する支援

5 個性豊かな地域づくり

R 8 の取り組みの方向性

県民がボランティア活動に参加しやすい環境づくりや社会貢献活動を行うNPOの運営支援を通じ、個性豊かな地域づくりを推進する。

① 災害ボランティア人材の育成・確保や、NPOの育成・活動支援

② ふるさと納税制度を活用した県の魅力発信

6 安心して快適に暮らせる地域づくり

R 8 の取り組みの方向性

飲酒運転根絶や自転車の安全な利活用などの交通安全対策を推進するほか、防犯まちづくりや犯罪被害者等支援の推進、消費者施策の推進に取り組む。

① 飲酒運転根絶や自転車の安全な利活用に向けた取組、世代に応じた交通安全対策など、県民総ぐるみによる交通安全活動の推進

② 防犯まちづくり意識の向上や、犯罪被害者等への支援の推進

③ 消費生活相談体制の充実や、被害未然防止のための消費者教育の推進

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（商工労働部）

◎予算編成方針

- ・被災事業者の一日も早いなりわい再建や、能登の特色ある産業の復興に向けて、引き続き、事業者ニーズを踏まえ、早期の営業再開から本格復旧、その後の経営再建を支援するほか、資金繰り、雇用維持・人材確保などにきめ細かく対応する。また、被災地の新たな産業の担い手を創出するため、能登での起業促進や県外スタートアップの誘致に取り組む。
- ・産業振興指針に掲げる「新たな時代を捉えてともに飛躍・成長する、石川県の特徴を活かした魅力ある産業づくり」の着実な推進に向けて、事業者の様々な取り組みを支援する。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの復興の推進

R 8の取り組みの方向性

- 被災事業者が抱える課題に応じた支援を提供するため、能登事業者支援センターやILAC能登が関係機関と連携し、各種支援メニューを活用しながら、プッシュ型で伴走支援する。
 - 酒蔵や伝統的工芸品など、能登の特色ある産業の復興に向けた取り組みを後押しする。
 - 能登での起業促進や県外スタートアップの誘致など、新たな産業の担い手の創出に向けた取り組みを支援する。
-
- ・なりわい再建支援補助金や営業再開支援補助金、チャレンジ支援補助金等による事業の再開・継続支援
 - ・災害対策特別融資等による資金繰りの支援
 - ・雇用維持に向けた在籍型出向の促進
 - ・輪島塗「漆芸の聖地プロジェクト」の推進
 - ・「能登起業チャレンジ応援プロジェクト」の推進 等

2 新たな時代を捉えてともに飛躍・成長する、石川県の特徴を活かした魅力ある産業づくり

R 8の取り組みの方向性

産業振興指針に定める、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進やグリーン・トランスフォーメーション（GX）の推進をはじめとした7つの施策に係る事業者の様々な取り組みを支援する。

(1) DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

デジタル活用ものづくり支援センターを拠点に、事業者のニーズに応じて、DXの取り組みをきめ細かく支援

- ・デジタルシミュレーション技術や生成AIなどの先端技術の普及促進
- ・ロボットの導入に向けた普及・相談・人材育成等のワンストップ支援 等

- (2) GX（グリーン・トランسفォーメーション）の推進
・カーボンニュートラルに関する知識やノウハウの普及啓発
・脱炭素化に資する新素材等の研究開発の支援 等
- (3) 産業を支える人材の確保・育成
企業と人材のマッチング等により、多様な人材を確保
・学生の県内就職に向けた支援（インターンシップ、合同企業説明会、「Back to ISHIKAWA／Stay ISHIKAWA」プロジェクト 等）
・U I ターン就職希望者と企業とのマッチング支援
・外国人労働者や副業人材等の活用促進 等
- (4) 新事業・新産業の創出
石川県の強みや特徴を活かし、新たな事業・産業やスタートアップを創出
・成長戦略ファンドによる新たな製品・サービス等の開発支援
・スタートアップの呼び込みや成長段階に応じた支援
・大学発スタートアップの創出 等
- (5) 国内外への販路拡大・魅力発信
国内のニーズの多様化への支援や海外市場でのシェアの獲得に向け、県産品の競争力を強化
・国内外のアンテナショップによる県産品の魅力・価値の効果的な発信
・北陸3県連携による海外販路開拓支援
・加賀料理の無形文化財登録を契機とした取り組み 等
- (6) 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
支援機関等によるきめ細かな伴走支援により、中小企業・小規模事業者の事業基盤を強化
・経営課題の高度化・複雑化に対応するための伴走支援の推進
・物価高や賃上げへの対応など厳しい経営環境にある事業者への支援 等
- (7) 企業等の戦略的誘致
石川県の立地の優位性を活かした誘致活動により、企業等を戦略的に誘致

3 金沢港・七尾港における取扱貨物やクルーズ船の寄港拡大

R 8 の取り組みの方向性

港の立地の優位性や特性を活かして、金沢港・七尾港の活性化を図るとともに、クルーズ船の誘致強化と受入体制の整備に取り組む。

- ・取扱貨物量の増加に向けた戦略的なポートセールスの推進
- ・金沢港の優位性を活かしたクルーズ船の誘致強化と受入体制の整備 等

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（農林水産部）

◎予算編成方針

能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興を加速化させるため、必要な施策を切れ目なく実施し、能登の基幹産業の1つである農林水産業の生業再建を強力に支援するとともに、県の農林水産業が将来にわたり持続的に発展していくよう、スマート農林水産業の普及による生産の効率化、農林水産物のブランド化による収益力の向上を図るとともに、担い手の確保・育成、農山漁村地域の維持及び振興に向け、各種施策を展開する。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興

R 8の取組の方向性

農林水産業施設の更なる復旧を進めるとともに、農林漁業者が安心して生業を再開・継続できるようハード・ソフトの両面から支援する。

(1) 災害復旧

農地・農業用施設、林道・治山施設、漁港などの本格復旧

(2) 農林水産業の生業再建支援

営農環境整備や農地の集積・集約の促進、畜舎・牧草地などの復旧、林業生産基盤の復旧、漁船・漁具等の修繕・再取得などに対する支援

2 農業生産構造の強化

R 8の取組の方向性

安定した農業所得の確保に向け、県産米の消費拡大や高温に強い品種の作付拡大、農業従事者の確保・育成、農地の集積・集約や農地整備、スマート農業（DX）の展開などの取組を進めることで、農業生産構造の強化を図る。

(1) 県産米の消費拡大や収益力の高い米づくりによる農業所得の確保

ひやくまん穀等の県内外での販売促進、高温に強い品種の作付推進

(2) 農業従事者の確保・育成と農業参入促進

いしかわ耕稼塾による多様な人材の確保・育成、農業法人等の新規参入の促進

(3) 担い手の規模拡大に向けた農地集積・集約や農地整備の促進

営農の効率化に向けた、いしかわ農業総合支援機構の仲介による農地集積・集約や、農地整備の促進

(4) スマート農業（DX）の展開による生産性の向上

スマート農業の普及に向けたデジタル人材の育成

3 持続可能な農業・畜産業の体制づくり

R 8 の取組の方向性

環境保全型農業（GX）の推進や農村集落の営農継続に向けた体制強化、畜産業の体制強化などの取組により、持続可能な農業・畜産業の体制づくりを進める。

(1) 環境保全型農業（GX）の推進

生産者や消費者に対する環境保全型農業の理解促進に向けた普及啓発

(2) 農村集落の営農継続に向けた体制強化

地域が一体となった農村機能の保全活動の推進

(3) 畜産業の生産体制の強化

能登牛など畜産物の生産拡大に向けた担い手の確保や施設の整備、家畜伝染病の発生予防や防疫体制の強化

(4) 県内産の堆肥・飼料の生産・利用拡大

化学肥料の削減に向けた家畜ふん堆肥などの利用拡大、飼料コストの削減に向けた県内産飼料の生産と利用拡大

4 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興

R 8 の取組の方向性

優れた特長を有する県産農林水産物のブランド化をさらに推進するとともに、世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする多様な地域資源の活用により、里山里海の振興を図る。

(1) 農林水産物のブランド化のさらなる推進

「百万石の極み」を中心とした県産ブランド農林水産物の県内外での魅力発信と生産体制の整備、米をはじめとした輸出拡大に向けた新規マーケットの開拓

(2) 里山里海地域の振興

里山振興ファンドによる地域資源を活用した新商品・新サービスの開発や関係人口の創出、トキの放鳥を契機とした能登産米のブランド化の推進による地域活性化

5 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化

R 8 の取組の方向性

県産材の安定的な供給体制の整備などにより、人工林資源の積極的な利活用を進めるとともに、県産材の利用促進や林業従事者の確保・育成に取り組む。

(1) 県産材の安定供給体制の構築

高性能林業機械やドローンの導入による主伐・再造林等の森林整備の推進

- (2) 林業におけるD X・G Xの推進
スマート林業の推進、J-クレジット制度の活用
- (3) 県産材の利用促進
県産材の安定供給及び住宅・民間施設等における利用促進
- (4) 林業従事者の確保・育成、定着の促進
あすなろ塾による新規就業者の確保・育成

6 持続性のある水産業の実現

R 8 の取組の方向性

水産資源の適切な管理による安定供給、県産水産物のブランド化のさらなる推進を図るとともに、漁業従事者を確保・育成し、持続性のある水産業の実現を図る。

- (1) 水産資源の適切な管理による安定供給
資源管理の徹底や養殖による水産資源の維持増大、スマート水産業（D X）による操業や流通の効率化
- (2) 県産水産物のブランド化のさらなる推進
飲食店等と連携した県産水産物の地元消費拡大
- (3) 漁業従事者の確保・育成、定着の促進
わかしお塾による就業希望者に対する体験機会の提供

7 災害に負けない強靭な県土づくり

R 8 の取組の方向性

激甚化・頻発化する自然災害に備え、流域治水の推進などの対策強化を図る。

- (1) 気候変動の影響等を踏まえた流域治水の推進
ため池の改修や農業水利施設の整備、治山対策の促進
- (2) いしかわ森林環境税等による森づくりの推進
里山林における緩衝帯の整備や放置竹林の除去

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（競馬事業局）

◎予算編成方針

金沢競馬については、令和7年8月の大雨災害による開催中止を余儀なくされたものの、本格的なナイター競走の実施やSNSを中心とした情報発信の強化等により、黒字基調を維持できる見込みである。来年度においても、安全と公正の確保を大前提に競馬を実施するとともに、金沢競馬の魅力づくりと魅力発信を図るほか、JBC競走の実施により更なる売得額の向上と新規ファンの獲得に努める。また、必要な施設整備を着実に進めるとともに、経費の節減等により収益性を高め一層の経営基盤の安定を図ることで、金沢競馬の持続可能な発展を目指す。

◎重点施策等

R 8 の取組の方向性

「能登復興支援シーズン」と位置付けて、創意と工夫を凝らした競馬を実施するとともに、魅力づくりや魅力発信を図るほか、JBC競走の実施により更なる売得額の向上と新規ファンの獲得に努めるとともに、きゅう舎の建替えをはじめとした施設整備を着実に努める。

1 売得向上と新規ファンの獲得

(1) 金沢競馬の魅力向上

ナイター競走、重賞競走・交流競走の拡大、金沢美術工芸大学との連携による場内アート作品の制作など魅力づくりの推進

(2) インターネット購買者向けの情報発信の強化

予想ライブ番組の配信、SNS等を活用した情報発信の充実・強化

2 JBC競走の開催

令和8年11月3日（祝・火）に、金沢では5年ぶり3度目となる、地方競馬最大規模の「ダート競馬の祭典」であるJBC競走を開催する。能登の復興の希望の光となるとともに、創造的復興に取り組む姿や大雨災害から復活した金沢競馬を全国に向けて力強く発信する。

JBC（Japan Breeding farms' Cup）競走の概要

開催日	令和8年11月3日（祝・火）		
レース名	JBCクラシック	JBCスプリント	JBCレディスクラシック
距離	2,100m	1,400m	1,500m

※例年のとおり北海道の門別競馬場でJBC2歳優駿を同日開催

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（土木部）

◎予算編成方針

- ・ 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興を進めるとともに、本年8月の大雨災害など、これまでの災害の教訓を踏まえ、防災・減災基盤の充実強化を図り、県民生活の安全・安心を確保する。
- ・ 人やものの交流の拡大に資する道路網や港湾などの広域交流基盤の整備を進めるほか、金沢城公園をはじめとした、観光誘客に向けた県土の魅力づくりを推進する。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨からの復旧・復興及び教訓を踏まえた災害に負けない強靭な県土づくり

R 8の取り組みの方向性

能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興について、国などの関係機関と連携しながら、公共土木施設等の早期復旧に向け全力で取り組む。

また、これまでの災害の教訓を踏まえ、災害に負けない強靭な県土の基盤づくりを進めるため、「流域治水」によるハード・ソフト両面での対策を県下全域で推進するとともに、緊急輸送道路の防災対策や県水送水管の耐震化、公共土木施設の適切な維持管理による長寿命化対策、生活道路の安全対策に取り組む。

(1) 公共土木施設等の早期復旧

能登半島地震・奥能登豪雨により甚大な被害を受けた、道路、河川、港湾などの公共土木施設等の早期復旧

(2) 気候変動の影響等を踏まえた流域治水の推進

① 抜本的な対策である河川改修の促進

若山川、河原田川、熊木川、米町川、犀川、西川、動橋川など県下全域での河川改修の促進

② 大雨災害を踏まえた河川の改良復旧の促進

被災した河川における復旧工事と一体となった改良工事

③ 即効性のある災害予防対策

河川の堆積土砂の除去、堤防の強化

④ 避難態勢の強化支援

洪水ハザードマップの周知、水位計・河川監視カメラの設置など

⑤ 砂防関係施設の整備

⑥ ダムの事前放流の実施

※ その他、森林整備や市街地の内水対策など関係機関と一体となって取組を推進

(3) 緊急輸送道路の防災対策の促進

橋りょう耐震補強、落石対策、無電柱化の整備など

- (4) 県水送水管の耐震化（2系統化）の推進
耐震性に優れた送水管の敷設
- (5) 公共土木施設の適正な維持管理の推進
橋りょうやトンネル、河川管理施設、下水道等の長寿命化対策
- (6) 安全・安心な交通環境の確保
身近な生活道路における舗装補修、通学路の安全対策

2 人やものの交流の拡大に資する交流基盤の整備

R 8 の取り組みの方向性

人やものの交流を一層盛んにしていくため、県土を隈なく網羅する幹線道路網の形成や港湾機能の充実強化に取り組む。

本県が誇る優れた歴史的景観や自然景観の活用・創出を図るため、都市公園の整備や観光地の無電柱化など県土の魅力づくりに努める。

(1) 広域交流ネットワーク道路の整備

- ① 県内各地の時間距離の短縮
能越自動車道（輪島道路、田鶴浜七尾道路）、のと里山海道（柳田 IC～徳田大津 JCT）、金沢東部環状道路、国道 8 号（松任拡幅、小松バイパス）など
- ② 陸・海・空の交流拠点との連携強化
七尾外環状道路、金沢外環状道路海側幹線、加賀海浜産業道路など
- ③ 県際道路の整備
国道 415 号、国道 8 号（俱利伽羅トンネル、熊坂牛ノ谷トンネル）など
- ④ 市街地交通の円滑化
泉野々市線・西金沢駅通り線など

(2) 港湾機能の充実による交流促進

金沢港、七尾港など

(3) 都市公園の整備

金沢城公園、木場潟公園、能登歴史公園など

(4) 観光資源を活かした県土の魅力向上

いしかわ里山里海サイクリングルートの魅力向上・発信、千里浜再生プロジェクトの推進

(5) 街なみ景観の魅力アップ

無電柱化を核とした街なみの魅力向上（金沢市寺町地区、加賀市山中温泉本町地区など）

(6) 快適に暮らせるまちづくり

良好な市街地の形成を図る街路整備、いしかわ我がまちアドプト制度の推進

3 建設業の経営基盤強化

担い手確保に向けた幅広い年代への入職 P R、働き方改革に向けたセミナーの開催など

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（警察本部）

◎予算編成方針

- ・県内の刑法犯認知件数は、平成15年のピーク時と比べ3分の1程度まで減少しているものの、匿名・流動型犯罪グループが特殊詐欺、SNS型投資・ロマントシズ詐欺をはじめ、組織的窃盗・盗品流通事犯等に関与し、治安対策上の脅威となっている。さらに、子どもや高齢者が被害に遭う交通死亡事故が発生しているほか、令和6年能登半島地震や令和6年奥能登豪雨では甚大な被害が発生し、被災地では刑法犯認知件数が増加するなど、治安情勢は依然として予断を許さない状況にある。
- ・県警察では、治安情勢の変化を踏まえて、組織運営の最適化を図るとともに、被災地の復旧・復興を支えるための治安対策を推進するなど、直面する治安課題に的確に対処し、「安全で安心して暮らせる石川の実現」に取り組む。

◎重点施策等

1 被災地における復旧・復興を支えるための治安対策の推進

R8の取り組みの方向性

パトロール活動等による犯罪抑止対策や迅速・的確な初動捜査活動、きめ細かな交通安全活動など、被災地の復旧・復興を支えるための治安対策を一層推進する。

- きめ細かなパトロール活動等の推進、復旧状況に合わせた交通安全施設の整備

2 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

R8の取り組みの方向性

少年の非行防止や保護対策、女性の安全確保や高齢者の犯罪被害防止に向けた取組など、県民を犯罪から守り、また、犯行に加担させないための取組を推進する。

- 地域の犯罪情勢に即した街頭活動、幅広い年齢層へ向けた広報啓発活動

3 サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進

R8の取り組みの方向性

安全で安心なサイバー空間の確保に向け、警察組織の総合力を発揮した効果的な対策を推進する。

- 人的・物的基盤の強化、大学・民間企業等と連携した被害防止対策の推進

4 県民の生活の安全を脅かす犯罪の徹底検挙

R8の取り組みの方向性

初動捜査における迅速・的確な客観証拠の収集、科学技術の活用、捜査支援分析体制の充実と活用など、警察組織全体の検挙力及び事態対処能力を強化する。

- 科学技術の活用、捜査支援分析体制の充実

5 交通死亡事故等の抑止と実態に即した交通環境の整備

R8の取り組みの方向性

自治体、関係機関・団体等と連携した交通安全教育や交通安全活動、悪質・危険な運転に対する取締りの強化、交通実態に即した交通安全施設の整備等を推進する。

- 交通安全教育及び交通安全活動の推進、交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進、重点的、効果的かつ効率的な交通安全施設等の整備

6 大規模災害への的確な対処と情勢に即した警備諸対策の推進

R8の取り組みの方向性

いかなる大規模災害にも的確に対処するため災害対処能力の一層の向上を図るほか、国際情勢等に即した警備諸対策を推進する。

- 初動態勢の確立及び対処能力の向上、警備諸対策の推進

7 犯罪被害者等支援の充実

R8の取り組みの方向性

犯罪被害者等に寄り添ったきめ細かな支援、途切れない支援の提供体制の活性化等、各種施策を総合的かつ計画的に推進する。

- 犯罪被害者等への適切な対応や支援、体制強化と県民の理解の増進

8 警察力の充実強化と県民の立場に立った警察活動の推進

R8の取り組みの方向性

警察組織の基盤を整備し、県民の立場に立った警察活動を一層推進する。

- 幅広い知識・技能を有する人材の確保、警察施設・装備資機材の計画的整備

令和8年度予算編成方針及び重点施策等（教育委員会）

◎予算編成方針

- ・現在、策定を進めている、本県教育の総合的な指針である「第4期 石川の教育振興基本計画」に基づき、学校教育の質の充実を図るとともに、生涯学習の推進、文化財の保存・活用、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨への対応など必要な諸施策に取り組む。

◎重点施策等

1 令和6年能登半島地震・奥能登豪雨への対応

R 8の取り組みの方向性

奥能登地区の人口動態や地震などの影響を踏まえると奥能登の県立高校5校の生徒数は今後も減少していくことが想定されるため、生徒に選ばれる魅力ある学校づくりを進める。また、被災により深刻な被害が発生した学校施設や文化財を復旧するとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、学習環境の整備に取り組む。

(1) 奥能登地域の県立高校5校の魅力向上

小規模校における学びの質の保障と特色ある学校づくりに向けた取組など

(2) 県立高校でのふるさと教育・創造的復興教育の推進

奥能登5校での地域を越えた交流活動や復興探究コーディネーターの配置、能登でのフィールドワークを通じた防災教育など

(3) 児童生徒への支援

ICTを活用した遠隔授業、災害時学校支援チームの立ち上げに向けた準備、被災児童生徒のこころのケアなど

(4) 学校施設等の災害復旧

県立学校の校舎等復旧工事、文化財の修復、漆芸研修所の寄宿舎の整備など

2 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成

R 8の取り組みの方向性

石川の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を持って、石川の魅力を広く伝えることができる力を養うとともに、企業や大学等と連携した取組を通して、チャレンジ精神や幅広い視野でグローバル化に対応できる力を身につけ、地域産業をはじめとする社会の様々な分野を牽引し、地域の活性化に貢献できる人材の育成を図る。

(1) ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成

石川ゆかりの偉人、先人や石川の文化や歴史などを通した教育の推進

(2) 地域の活性化に貢献できる人材の育成

実社会での課題解決に向けた探究型学習教育の推進など

3 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成

R 8の取り組みの方向性

本県の小中学校の児童生徒の学力は、全国学力・学習状況調査において良好な結果であり、引き続き、学力向上の取組を推進していく。高等学校については、各学校の目指す生徒像に応じ、組織的な学習指導に取り組み、キャリア教育・職業教育の充実を図る。

(1) 確かな学力の育成

金沢大学と連携した「学力向上プログラム」の推進

(2) G I G Aスクール構想、教育DXの推進による学びの質の向上

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や情報活用能力の育成など

(3) キャリア教育・職業教育の充実

地域や企業、大学等と連携した実社会で求められる実践力の育成に向けた質の高い職業教育の実践など

(4) 特別支援教育の充実とインクルーシブ教育の推進

一人ひとりのニーズに応じた教育の充実、障害のある子どもとない子どもが共に活動し共に学び合う交流の推進など

(5) 夜間中学の充実

教育の機会の確保、一人ひとりの状況に応じた柔軟な学びの支援など

4 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり

(1) 道徳教育の充実

いしかわ版道徳教材を活用した道徳教育の充実など

(2) いじめ・不登校等への取組の充実

スクールカウンセラーや校内教育支援センター専任教員の配置など

(3) 体験活動の充実

休日の部活動の地域展開に向けた支援、自然体験活動等による豊かな人間性・社会性等の育成

(4) 全国高等学校総合文化祭（R9年夏）の開催に向けた準備

(5) 健康や体力を育む教育の充実

学校における食育の推進、体力アップ1校1プランの推進など

5 信頼される質の高い学校づくり

(1) 教育環境の整備

県立学校体育館への空調設備の計画的な整備、学校施設の老朽化対策や多様化する教育内容、学習形態に対応した学習環境の整備など

(2) キャリアステージに応じた教員研修の実施

若手教員早期育成プログラム、中堅教員の教科指導力強化の講座など

(3) 教職員の多忙化改善の推進

「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づく取組の実施

6 学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上

親学び講座の開催支援、地域と学校の連携・協働体制構築への支援など

7 生涯にわたり学び続ける環境づくり

県民の学習ニーズに対応した県民大学校講座の開催など

8 文化財の保存・活用

絵図、石垣など金沢城の調査研究の推進、文化財の保存修理への支援など